

授業だけじゃない！？ 教育のユニバーサルデザインとは

通常学級において、学習面又は行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒の割合が、小中学校で8.8%だったという結果や、インクルーシブ教育の推進という点から、通常学級での特別支援教育の視点を取り入れた取組が注目されています。今回は、通常学級で大切にしていかなければならないことは何か、「特別支援教育の視点を取り入れる」ということはどういうことなのかについておさえていきましょう。



レオ先生

前回のSTEPで、通常学級では、「わかりやすい授業づくり」「安心・安全に学べる学級」「合理的配慮の提供」を意識していくことが大事だと学びました。

そうですね。学習面や行動面で著しく困難を示す児童生徒が、クラスの中には必ずいると考えるとすれば、その子どもたちが「わかる・できる」授業を考えていかなければなりませんよね。支援が必要な子どもたちにとって「わかる・できる」授業であるということは、つまり、みんなにとってもわかりやすい授業ということになります。これが、授業のユニバーサルデザインの考え方ですね。

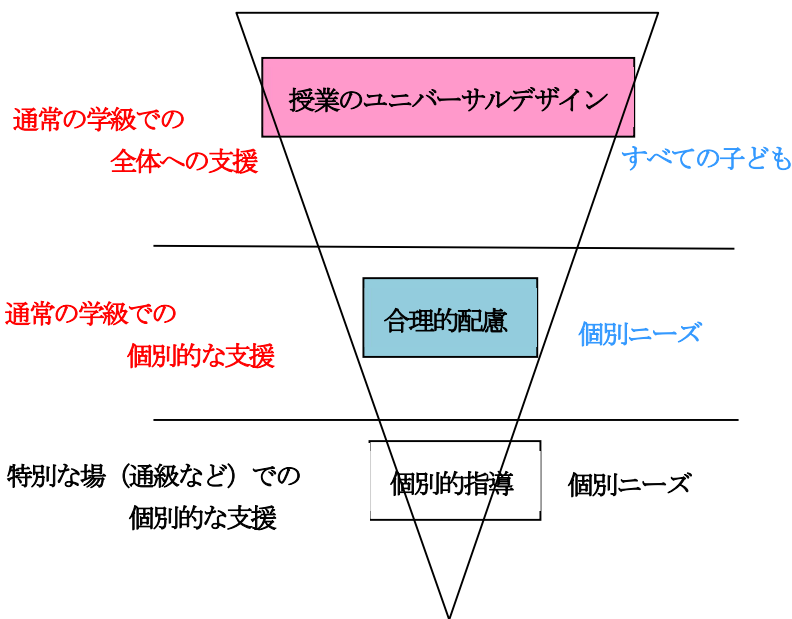


通常学級を担任している私からすると、困り感のある子どもたちに対する支援は「特別な支援」という意識でしたが、それを通常学級で、普段から取り入れていくということは、もう特別ではなく、「当たり前の支援」というように、意識を変えていかなければなりませんね。

レオ先生の言う通り！ まずは、その意識改革が必要ですね。



子どもへの支援を3つのステージで考える



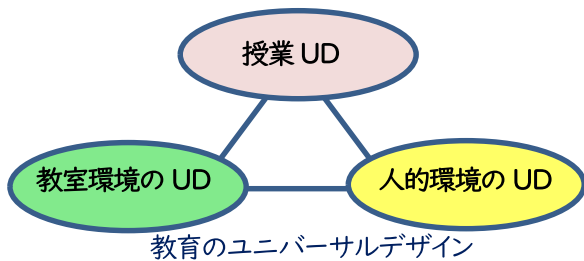
多様な子どもたちを通常の学級で指導するには、まず、どの子どもにも共通の工夫や配慮としてユニバーサルデザインの授業づくりを行うことが不可欠です。そして、そのうえで、障がいのある、または、困り感のある子どもに関しては他の子の学びと同じスタートラインに立つための個別の支援である、合理的配慮を行う必要があります。通常学級では、ユニバーサルデザインでの全体指導と、個別的な支援の合理的配慮のどちらも充実させていけるようにしましょう。



全体への指導と個別の配慮、両輪で行うことが大事なのですね！

さて、これまで授業のユニバーサルデザイン(以下、授業 UD)についてお話をしてきましたが、これ以外にも大切にしていきたいことがあります。レオ先生、何かわかりますか？

え〜と… よく聞くのは、掲示物を貼らずに、黒板周りをすっきりさせるとか…



そうですね。それも一つありますね。より多くの子どもたちにとって、わかりやすく、学びやすく、そして安心安全に配慮された教育の場というのは、**授業 UD**の他に、**教室環境の UD**、**人的環境の UD** が合わさって成り立つと言われていいます。レオ先生が言ってくれた、「黒板周りをすっきりさせる」というのは、**教室環境の UD**に入りますね。

教室環境の UD は何となくイメージができるのですが、「人的環境の UD」とは、何のことですか？

人的環境の UD とは、一言で表すと、「**温かで、共感的なクラス**」と言えます。人的環境には二つあり、一つは支援の必要な子どもや周りの友だちを含む、クラス集団。もう一つは、教師自身です。

友だちの失敗を笑ったり、わからないことを馬鹿にしたりするクラスでは、安心して学ぶことができませんよね。子どもたちが安心して過ごせるには、「**わからないこと、できないこと**」に**正直になれるクラスづくり**をしなければなりません。そのために教師は、**子どもの間違いを価値あるものだと意味づける**ことが重要です。間違いから学びを得られる場にできれば最高です！

そして、教師の言葉や態度も人的環境です。教師の言葉一つ、態度一つでクラスの雰囲気は変わります。**共感的な言葉や態度**を意識して、子どもたちにかかわることが大切です。

なるほど。一番大切なことですね。これが「**安心・安全に学べる学級**」につながるのですね。クラスが安心して学べる温かい雰囲気を作れるように、意識して取り組みたいと思います。

特別支援の視点を取り入れた取組について、レオ先生をはじめ、たくさんの先生方が勉強をしてくださっていますね。参考になる本もたくさん出ています。ただ、気を付けていただきたいのは、特別支援で行われている手法を何でも取り入れればよいというのは間違いです。大切なことは、**子どもたちの困難な状況の要因はどこにあるのかを明らかにした上で、どの支援が必要なのかを見極めて活用**することです。それが、「特別支援教育の視点を取り入れる」ということです。

レオ先生、先生のクラスではどんな支援が必要ですか？ 2学期に向けてじっくり考えてみましょうね！

はい！ 1学期を振り返りながら、しっかり考え、2学期の準備をしたいと思います。

【参考文献】

「通常学級のユニバーサルデザイン スタートダッシュ Q&A 55」

阿部利彦 東洋館出版社

「人的環境のユニバーサルデザイン 子どもたちが安心できる学級づくり」

阿部利彦・赤坂真二 他 東洋館出版社

【令和5年度第2回の開催日】 8月23日(水) 16:15~17:15 (17:00~17:15 フリートーク)



第2回 R-cafe テーマ

「通常学級での取組~2学期へ向けて、どうする?~」

★学校名__お名前 (〇〇小__△△) で参加してください。

★途中入室・退室 OK です。飲み物準備で、どなたでもお気軽にご参加ください。